

一般社団法人 日本大ダム会議 / 一般社団法人 ダム・堰施設技術協会

第53回ダム技術講演討論会

一般財団法人 日本ダム協会

第79回『ダム施工技術』講習会

合同開催のご案内(Web併用)

◇と き 令和2年11月24日(火)・25日(水)

◇ところ 日本橋社会教育会館8Fホール (Web併用)

(東京都中央区日本橋人形町1-1-17)

開催趣旨

わが国のダム建設技術は、設計、施工、材料の各分野における技術の高度化などにより、世界に冠たる技術力を誇っております。しかしながら、わが国が人口減少時代を迎える中、さらなる技術開発や合理化施工が求められており、各ダム建設現場においては一層の研鑽が重ねられている状況にあります。さらに労働基準法が改正になり、ダム事業においても週休2日制の導入、超勤時間の短縮、技能労働者の収入の確保などの「働き方改革」の実現に向けた取り組み対応が急務となっております。

当協会ではこうした趨勢に鑑み、わが国のダム建設技術の発展に向け、官民を問わずより多くの技術者の方々に、より多くの研究例や設計・施工例を学んでいただくことを主眼として「ダム施工技術講習会」を開催してきました。

昨年、広く受講生の参加を促す観点より、ダム技術関連他協会との一層の連携を図るべく当協会の「ダム施工技術講習会」と、日本大ダム会議とダム・堰施設技術協会共催の「ダム技術講演討論会」を合同で開催しました。本年も、11月24日、25日に共催で開催することといたしました。

当協会の「ダム施工技術講習会」は、最新のダム情勢、最新のダム技術を紹介しております。また、日本大ダム会議とダム・堰施設技術協会の「ダム技術講演討論会」では、日本大ダム会議の分科会報告並びに特別講演、ダム・堰施設技術協会からゲート等の最新技術が発表されます。これらは当協会としても、今後世界の市場に参入する際に必要となる技術並びにダム現場で必要な水門設備技術と考えております。受講される方々にとっては、この二日間の講習会は、国内での最新施工技術等を知ることができる良い機会となるでしょう。

国土交通省からは、「ダム事業をめぐる現状と今後の展望」として、最近の治水事業の動きや今後のダム事業の方向性を紹介していただきます。

また、今年は最新技術について特集します。海外のRCC工法で完成したナムニアップ1ダムにおける最新技術、水資源機構から川上ダムにおけるi-Construction & Managementへの取り組み、今年竣工した八ッ場ダムの最新技術、サンルダム(台形CSGダム)における最新技術、さらにPSアンカーによるコンクリートダムの耐震補強工事について紹介して頂きます。

是非、「ダム施工技術講習会」に多くのダム技術者の方々に参加下さいますよう、ご案内いたします。

**第53回ダム技術講演討論会
第79回『ダム施工技術』講習会**

プログラム

令和2年11月24日(火)・25日(水)
日本橋社会教育会館8Fホール

第1日	10:00~10:15	開会挨拶 杉山 弘泰 一般社団法人 日本大ダム会議 会長 開会挨拶 工藤 啓 一般財団法人 日本ダム協会 専務理事
	第1部 ダム技術講演討論会	
	セッション 1	
	10:15~11:45	司会 安田 吾郎 一般社団法人 日本大ダム会議 常務理事 「日本大ダム会議 技術委員会分科会活動報告」 ●ダム設計基準調査分科会 報告 柳川 城二氏 (ダム設計基準調査分科会委員長) 佐藤 弘行氏 (地震WG幹事) 箱石 憲昭氏 (洪水WG長) 吉野 泰氏 (既設ダムWG長) 山口 嘉一氏 (新型式ダムWG長)
	~12:00	質疑応答
	12:00~13:00	———— 昼食休憩 ————
	セッション 2	
	13:00~ 14:10	司会 柏柳 正之 一般社団法人 日本大ダム会議 専務理事 ●衛星データを活用するダムの外部変形及び貯水池周辺斜面の 監視技術の現状と展望 (仮題) 清水 則一氏 (山口大学)
	~14:20	質疑応答
	セッション 3	
14:20~14:50	司会 荒井 猛 一般社団法人 ダム・堰施設技術協会 技術部長 「ダム・堰施設技術協会 会員活動報告」 ●ハッ場ダム機械設備施工 (仮題) 松尾 直哉氏 ((株)IHIインフラシステム)	
~15:00	質疑応答	
15:00~15:20	———— 休憩 ————	
第2部 「ダム施工技術」講習会		
セッション 1		
15:20~16:20	司会 中野 朱美 一般財団法人 日本ダム協会 「日本ダム協会施工技術研究会 第2部会 活動報告」 ●「コンクリートダムのひび割れ調査結果報告書」 林 健二氏、太田 宏通氏、新井 博之氏	
セッション 2		
16:20 ~17:50	●「ラオス国ナムニアップ1におけるRCCダムの最新技術について」 関西電力 筒井 勝治氏、中村 和男氏、青坂 優志氏	
第2日	9:20~10:50	司会 中野 朱美 一般財団法人 日本ダム協会 ● 「ダム事業をめぐる現状と今後の展望」 国土交通省 水管理・国土保全局治水課 事業監理室長 島本 和仁氏
	10:50~11:50	———— 昼食休憩 ————
	11:50~13:10	● 「水資源機構における i-Construction & Management の取り組み ~川上ダムにおける活用事例など~」 水資源機構 ダム事業部設計課長 杉浦 友宣氏

第2日	13:10～14:20	●「八ッ場ダムにおける最新技術活用について」 国土交通省関東地方整備局 利根川ダム統合管理事務所 総括保全対策官 小島 宏一 氏、清水建設(株) 長谷川 悦央 氏
	14:20～14:30	———— 休憩 ————
	14:30～15:40	●「サンルダム(台形CSGダム)における最新技術活用について」 北海道開発局 旭川開発建設部 名寄河川事務所サンルダム管理支所 支所長 赤坂 友二 氏 大成建設(株) 土肥 聡 氏
	15:40～16:40	●「堤体PSアンカー工法による千本ダム耐震補強工事の技術談義」 ダム技術センター首席研究員 川崎 秀明 氏 (株)大林組 太田 親 氏
	16:40～16:50	閉会挨拶 工藤 啓 一般財団法人 日本ダム協会 専務理事

*テーマ、講師は変更する場合があります。

*本講習会は(公社)土木学会認定の「継続教育(CPD)プログラム」です。



参加申し込み要領

受講料 日本ダム協会会員 ¥15,000円 非会員 ¥18,000円(税込)

*コロナ禍のため会場内へは先着80名までとします。それ以降の申し込み者は、Webでの参加となります。

Web会議システムでの参加の場合 日本ダム協会会員 ¥8,000円 非会員 ¥10,000円(税込)

なお、Web会議の場合、テキストはPDFで配布します。

申込方法 (1) お申し込み締め切りは11月13日(金)(必着)です。

FAX、または、メール(fujiwara@jdam.jp)にてお申込み下さい。

(2) 受講料は銀行振込、または現金書留でご送金下さい。

*銀行振込 (一財)日本ダム協会普通預金口座
みずほ銀行築地支店 No.1426905
三井住友銀行築地支店 No.0920715

(3) 申し込みを確認次第、参加券をお送りします。

当日ご持参下さい。

(4) 申し込み締め切り日以降の参加取り消しはお受けできません。

(5) 当日の昼食は、各自でご準備下さい。

会場 日本橋社会教育会館 8Fホール
東京都中央区日本橋人形町 1-1-17
TEL03-3669-2102

<交通機関>

地下鉄 浅草線、日比谷線 人形町駅(A2、A6出口から徒歩4分)

半蔵門線 水天宮前駅(8番出口から徒歩5分)

申込先 〒104-0061 東京都中央区銀座2-14-2 銀座GTビル
一般財団法人 日本ダム協会講習会係 TEL 03-3545-8361(代) FAX 03-3545-5055



キリトリ線

第79回『ダム施工技術』講習会参加申込書

参加者氏名	勤務先・役職名					受講料
連絡先・住所	〒					
氏名	TEL	必要書類	請求書	見積書	納品書	
Email	FAX		通	通	通	

上記の通り受講料は 月 日 (銀行振込、現金書留)にて送金します。

(注) 送金方法、送金月日は必ずご記入ください。

日本ダム協会非会員の方は本券にて会員価格といたします。

***ダム日本購読者(非会員)優待割引券**